

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/04/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.14	-0.26
JPY/THB	0.2554	-0.0018
USD/JPY	133.67	-0.09
EUR/THB	37.67	-0.07
EUR/USD	1.1041	0.0068
USD/CNH	6.941	-0.001
SGD/THB	25.56	-0.13
AUD/THB	22.55	-0.24
USD/INR	81.77	-0.15
USD Index	101.47	-0.40

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.106	0.031
10Y (THB)	2.505	0.027
5Y (USD)	3.498	0.048
10Y (USD)	3.449	0.049

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,985.7	-8.3
WTI (Oil)	74.30	-2.77
Copper	8,552.5	24.5

Stock

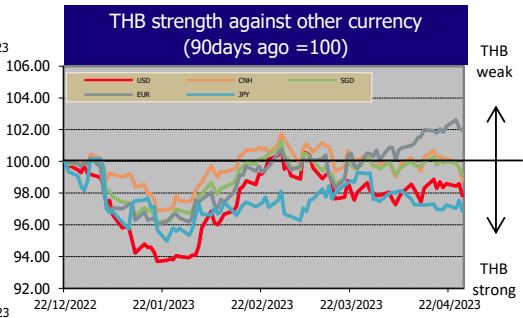
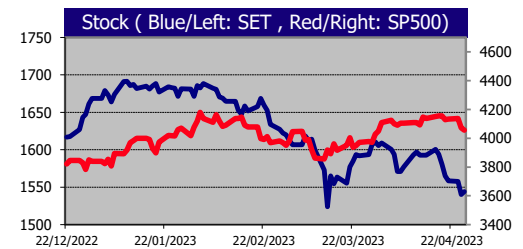
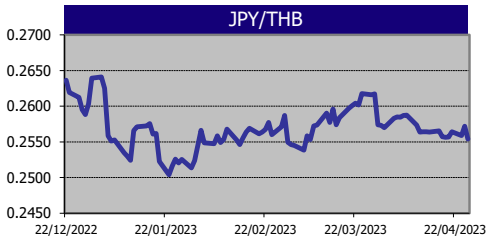
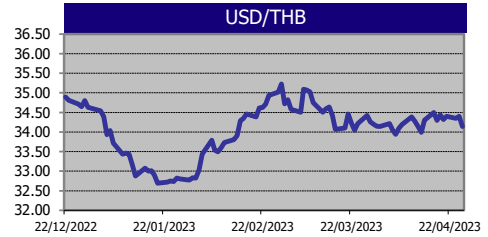
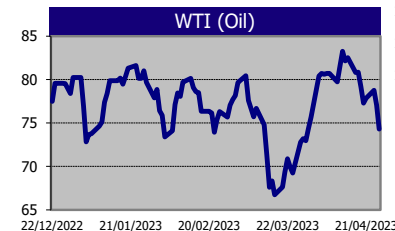
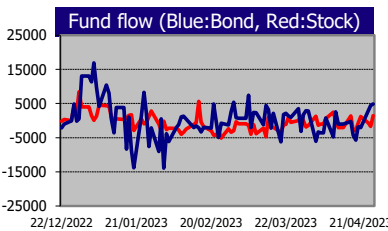
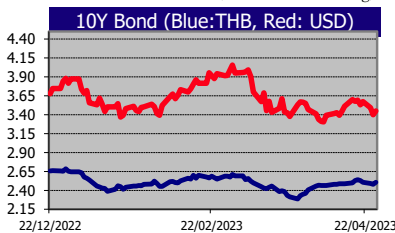
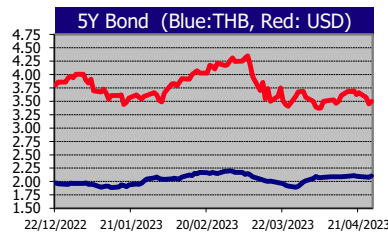
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,543.95	3.75
NIKKEI (JP)	28,416.47	-203.60
DOW (US)	33,301.87	-228.96
S&P500 (US)	4,055.99	-15.64
SHCOMP (CN)	3,264.10	-0.77
DAX(GER)	15,795.73	-76.40

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,411	3122.0
Bond net flow	4,894	480.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。34パーツ半ば付近で取引を開始。バンコク時間11時にタイ商務省が貿易データを公表し、3月の輸出が前年同月比で▲4.20%となったものの、市場予想(同▲14.70%)対比ではマイナス幅が小さかったことや、金額ベースでは12か月ぶりの高水準を記録し、それに伴い貿易収支も12か月ぶりの黒字を記録したことが好感され、パーツは堅調に推移。他のアジア通貨が軟調な推移を見せる中、対照的な動きを見せた。海外時間には米経済指標の軟調な結果も相俟って34パーツちょうど付近まで下落する場面を見せた。ただ、終盤にかけては下落も一服。34パーツ前半まで戻すと34.14レベルでクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は不安定な値動き。133円台後半で取引を開始。前日、米地銀の大規模な預金流出を背景に金融システム不安が再燃。その流れを引き継ぐ格好でやや円買い優勢の地合いに。海外時間に入ると、米3月耐久財受注が発表され、米景気減速を示唆する内容であったことからドル円は一時133円ちょうど付近まで下落。その後米金利が反転上昇した場面ではドル円も反発する場面を見せるも、米地銀の「FRB借入制限の可能性」との報道に再び下落に転じ、結局133.67レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

5月は米FOMC、タイMPCなど各国の金融政策決定会合が注目材料ですが、タイにおける下院選挙(5/14(日)実施)も注意が必要です。4年振りの総選挙となる今回選挙において、世論調査では野党タイ貢献党の優勢が伝わっています。「次期首相にふさわしい人物」というアンケートにおいても、タクシン元首相の次女でありタイ貢献党の首相候補の一人であるペートンタン氏がトップです。ではペートンタン氏が首相になりそうなのかという、それにはまた別のハードルがあります。選挙後の首相指名においては、今回選挙が実施される下院500議席に加えて、軍政下で任命された上院250議席(ペートンタン氏には投票しないと考えられる)が合同で投票することになります。さすがにタイ貢献党だけで下院375議席超((500+250)÷2)を獲得するのは難しいと考えられることから、連立政権を模索することになると思いますが、ペートンタン氏をはじめタイ貢献党の幹部は、親軍政党とは連立しない方針と発言しています。こうなるとタイ貢献党の「勝ち方」が意味を持ててきます。タイ貢献党が圧勝(ただし375議席以下)した場合、タイ貢献党は現状の強気の姿勢を貫く可能性があります。その場合、選挙後の政権の形が中々見えてこない事態となり一時的にタイパーツが弱含む局面も考えられることから、注意が必要です。(池澤)